

## 連濁試論

平田 淳子

## 要旨

「田」で終わる3モーラ名字を対象とし、前部要素が3モーラ目にどのような影響を与えるかを観察して、連濁現象の一側面を検証した。2モーラ目が、鼻子音、撥音、長音などの場合に、3モーラ目が濁音化する傾向があった。前部要素の母音配列、子音配列が同条件にも関わらず、/ta/にも/da/にもなる場合があった。

## 1. はじめに

「平田」は“hirata”と読むが、「田」は「原田」の様に“harada”と読む場合もある。どのような場合に「田」を/ta/と読み、また/da/と読むかについて考察する。

「田」は縄文時代に大陸から伝来した稲作をしていたとされる日本においては、最も身近な漢字であり、「田」に関する用語が多いのは無論のこと、地名やそれに因んでつけられた人名も多い。電話帳にある名字で独自のランク付けをしている資料<sup>1)</sup>に拠ると、多いものから100番以内に「田」のつく名字は、「田中」を始め、「吉田、山田、池田、前田、藤田、岡田、福田、太田、松田、原田、田村、和田、石田、上田、森田、柴田、内田、高田、武田、村田、増田」など22件を数える。「田」が頭にある「田中、田村」を除いた残りの名字を見ても、吉田、山田などは/da/と、藤田、太田などは/ta/と読む場合が多い。高田は/ta/とも/da/とも読めるし、実際そのように名乗っている人たちがいる。

「田」を文字通り田畑の「田」と捉え、それを基に複合語名字が形成されていると考えれば、「田」の訓読みは/ta/であり/da/と読むのは連濁と考えられる。連濁については既に多くの先行研究があり、その中には語音と連濁、アクセントパターンと連濁には切り離せない関係があるとし、その方向から調査を行っているものが多い。本稿では連濁とアクセントの関係は考慮しないこととする。どのようなアクセントがあるかによって「田」の

読みが変わるといふところからではなく、実際にそのような名字が存在するといふところから出発する。

音声学の見地からすると、連濁は無声音から有声音への変化であるが、それは複合語の内部における音韻変化であるため、名字の後部要素「田」はそれ自体で何ら変化のしようがない。「2モーラの前部要素と1モーラの後部要素で成立する固有名詞」という極めて限定された条件下で、どのように「田」の音(/ta/から/da/へ)の変化が起こるのかを検証することで、連濁現象の一面を探るのが目的である。

## 2. 調査の目的と方法

## 2.1. 収集手法

## 2.1.1. サンプル対象

「田」で終わる3モーラ名字 (仮名3文字)

## 2.1.2. 出典

- 1) 広辞苑第五版電子版(「姓」との記述があるもの) (岩波書店1998)
- 2) 現代人名情報事典 (平凡社1987)
- 3) 姓氏家系大辞典 (角川書店1963)

\*2) 3) に関しての抽出対象は、名字の先頭が「ア」から「オ」のみ

- 4) その他日常生活に出現した名字

## 2.1.3. 抽出数

/da/ 109件    /ta/ 94件

## 2.2. 分析方法

収集した名字を3モーラ目を①/da/と読むものと②/ta/と読むものに分類し、それぞ

れをローマ字表記する。「田」を除く前部要素の音を C1 (子音 1) V1 (母音 1) C2 (子音 2) V2 (母音 2) の順に並べ、その並びの傾向を観察する。但し、yoshida の y は/j/に、kajita の j は/z/と音声表記するものとし、有

声・無声の判断については、窪園<sup>2</sup> (2001 p.55) の考え方に準拠する。

	無声	有声
清音	k, s, t, h	n, m, j, r, w
濁音		g, z, d, b

### 2.3. 結果

前部要素 2 モーラ分の母音の並びに着目し、表にまとめると以下の通りである。

(注) 各項目の音表記に続く数字は該当サンプル数

1) V1+V2 が [ a + □ (母音無し) ] の場合、①は 4 例全て 2 モーラ目の子音が/N/である (例: 半田) のに対し、②は 1 例で 2 モーラ目の子音は/Q/ (例: 八田) である。

2) V1+V2 が [ a + a ] の場合

①/da/ 15	C1	-子音	3/15	②/ta/ 15	C1	-子音	6/15
例: 天田	C1	有声音 / n, m, j /	4/15	例: 英田	C1	有声音 / n, w /	3/15
		無声音 / k, s, t, h /	8/15			無声音 / k, s, t, h /	6/15
		C2	-子音			—	C2
		有声音 / n, m, j, r, w /	10/15			有声音 / n, m, r, w, j, g, b /	10/15
		無声音 / k, s /	5/15			無声音 / k /	5/15

3) V1+V2 が [ a + e ] の場合

①/da/ 6	C1	-子音	—	②/ta/ 1	C1	-子音	—
例: 羽田	C1	有声音 / m /	1/6	例: 竹田	C1	有声音	—
		無声音 / k, t, h /	5/6			無声音 / t /	1/1
		C2	-子音			1/6	C2
		有声音 / n, m /	4/6			有声音	—
		無声音 / k /	1/6			無声音 / k /	1/1

4) V1+V2 が [ a + i ] の場合

①/da/ 6	C1	-子音	2/6	②/ta/ 14	C1	-子音	5/14
例: 会田	C1	有声音 / m /	1/6	例: 味田	C1	有声音 / n, m, w /	4/14
		無声音 / k, h /	3/6			無声音 / k, t /	5/14
		C2	-子音			2/6	C2
		有声音	—			有声音 / n, m, g, r, z /	7/14
		無声音 / s, t /	4/6			無声音 / k, s /	6/14

## 5) V1+V2 が [ a + o ] の場合

①/da/ 2	C1	-子音	1/2	②/ta/ 3	C1	-子音	1/3
例：後田	C1	有声音	—	例：青田	C1	有声音	—
		無声音 / s /	1/2			無声音 / k, s /	2/3
		C2	-子音			—	C2
	有声音	—	有声音 / d /		1/3		
	無声音 / t /	2/2	無声音 / k /		1/3		

## 6) V1+V2 が [ a + u ] の場合

①/da/ 4	C1	-子音	—	②/ta/ 6	C1	-子音	3/6
例：松田	C1	有声音 / m, j /	3/4	例：芥田	C1	有声音	—
		無声音 / k /	1/4			無声音 / k, s, t /	3/6
		C2	-子音			—	C2
	有声音	—	有声音 / j /		1/6		
	無声音 / k, s, t /	4/4	無声音 / k, t /		5/6		

7) /ta/ における V1+V2 が [ i + □ ] の場合、C2 は常に/Q/ (例：新田) である。/da/ の該当例無し。

## 8) V1+V2 が [ i + a ] の場合

①/da/ 5	C1	-子音	2/5	②/ta/ 6	C1	-子音	2/6
例：稲田	C1	有声音	—	例：磐田	C1	有声音 / m /	2/6
		無声音 / h, s /	3/5			無声音 / h, s /	2/6
		C2	-子音			—	C2
	有声音 / n, m /	4/5	有声音 / m, w, r, j, b /		6/6		
	無声音 / s /	1/5	無声音		—		

## 9) V1+V2 が [ i + e ] の場合

①/da/ 5	C1	-子音	3/5	②/ta/ 3	C1	-子音	2/3
例：家田	C1	有声音	—	例：出田	C1	有声音	—
		無声音 / h /	2/5			無声音 / s /	1/3
		C2	-子音			2/5	C2
	有声音 / m /	1/5	有声音 / d, g /		2/3		
	無声音 / s, k /	2/5	無声音 / s /		1/3		

## 10) V1+V2 が [ i + i ] の場合

①/da/ 8	C1	-子音	3/8	②/ta/ 1	C1	-子音	—
例：飯田	C1	有声音 / n /	2/8	例：引田	C1	有声音	—
		無声音 / h, k, s /	3/8			無声音 / s /	1/1
		C2	-子音			2/8	C2
	有声音	—	有声音 / d, g /		—		
	無声音 / s, t, k /	6/8	無声音 / k /		1/1		

## 11) V1+V2 が [ i + o ] の場合

①/da/ 3 例：糸田	C1	-子音	2/3	②/ta/ 4 例：広田	C1	-子音	—
		有声音	—			有声音	—
		無声音 / s /	1/3			無声音 / s /	4/4
	C2	-子音	—		C2	-子音	1/4
		有声音 / m /	1/3			有声音 / r, j /	3/4
		無声音 / s, t /	2/3			無声音	—

## 12) V1+V2 が [ i + u ] の場合

①/da/ 2 例：光田	C1	-子音	1/2	②/ta/ 3 例：生田	C1	-子音	1/3
		有声音 / m /	1/2			有声音 / m /	1/3
		無声音	—			無声音 / k /	1/3
	C2	-子音	—		C2	-子音	—
		有声音	—			有声音 / z /	1/3
		無声音 / t /	2/2			無声音 / k /	2/3

13) V1+V2 が [ o + □ ] の場合、/da/は4例・C2が全て/N/（例：恩田）、/ta/は1例・C2が/Q/（例：堀田）である。

## 14) V1+V2 が [ o + a ] の場合

①/da/ 4 例：岡田	C1	-子音	3/4	②/ta/ 1 例：小葉田	C1	-子音	—
		有声音	—			有声音	—
		無声音 / k /	1/4			無声音 / k /	1/1
	C2	-子音	—		C2	-子音	—
		有声音 / w, m /	2/4			有声音	—
		無声音 / k, s /	2/4			無声音 / h /	1/1

## 15) V1+V2 が [ o + e ] の場合

①/da/ 4 例：桶田	C1	-子音	1/4	②/ta/ 0	C1	-子音	—
		有声音 / g, j /	2/4			有声音	—
		無声音 / s /	1/4			無声音	—
	C2	-子音	1/4		C2	-子音	—
		有声音 / n /	1/4			有声音	—
		無声音 / k, s /	2/4			無声音	—

## 16) V1+V2 が [ o + i ] の場合

①/da/ 3 例：押田	C1	-子音	1/3	②/ta/ 8 例：萩田	C1	-子音	2/8
		有声音 / m, j /	2/3			有声音 / m, j /	3/8
		無声音	—			無声音 / t /	3/8
	C2	-子音	—		C2	-子音	—
		有声音	—			有声音 / g, r, b, m /	6/8
		無声音 / t, s /	3/3			無声音 / k, s /	2/8

## 17) V1+V2 が [ o + o ] の場合

①/da/ 6	C1	-子音	2/6	②/ta/ 3	C1	-子音	1/3
例：小野 田	C1	有声音	—	例：横田	C1	有声音 / j /	1/3
		無声音 / t, s, h /	4/6			無声音 / t /	1/3
		C2	-子音			1/6	C2
	有声音 / n, m, j /	4/6	有声音 / j /		1/3		
	無声音 / s /	1/6	無声音 / k /		1/3		

## 18) V1+V2 が [ o + u ] の場合

①/da/ 7	C1	-子音	1/7	②/ta/ 1	C1	-子音	—
例：奥田	C1	有声音 / g, n /	2/7	例：能田	C1	有声音 / n /	1/1
		無声音 / t, s, k /	4/7			無声音	—
		C2	-子音			5/7	C2
	有声音	—	有声音		—		
	無声音 / k /	2/7	無声音		—		

## 19) V1+V2 が [ u + a ] の場合

①/da/ 6	C1	-子音	1/6	②/ta/ 8	C1	-子音	1/8
例：深田	C1	有声音	—	例：浦田	C1	有声音 { m, n }	3/8
		無声音 / h, t, k /	5/6			無声音 { s, k }	4/8
		C2	-子音			—	C2
	有声音 / n, m, w /	3/6	有声音 { r, m, w, g }		7/8		
	無声音 / k, t /	3/6	無声音 { k }		1/8		

## 20) V1+V2 が [ u + e ] の場合

①/da/ 2	C1	-子音	2/2	②/ta/ 0	C1	-子音	—
例：上田	C1	有声音	—		C1	有声音	—
		無声音	—			無声音	—
		C2	-子音			1/2	C2
	有声音 / m /	1/2	有声音		—		
	無声音	—	無声音		—		

## 21) V1+V2 が [ u + i ] の場合

①/da/ 5	C1	-子音	2/5	②/ta/ 6	C1	-子音	2/6
例：内田	C1	有声音	—	例：藤田	C1	有声音	—
		無声音 / s, t, k /	3/5			無声音 / s, k, h /	4/6
		C2	-子音			—	C2
	有声音 / m /	1/5	有声音 / g, j, m, r /		5/6		
	無声音 / s, t /	4/5	無声音 / k /		1/6		

## 22) V1+V2 が [ u + o ] の場合

①/da/ 2	C1	-子音	—	②/ta/ 2	C1	-子音	—
例：黒田	C1	有声音	—	例：窪田	C1	有声音	—
		無声音 / t, k /	2/2			無声音 / k, t /	2/2
		C2	-子音			—	C2
	有声音 / n, r /	2/2	有声音 / b /		2/2		
	無声音	—	無声音		—		

## 23) V1+V2 が [ u + u ] の場合

①/da/ 3	C1	-子音	1/3	②/ta/ 2	C1	-子音	—
例：白田	C1	有声音	—	例：古田	C1	有声音	—
		無声音 / h, k /	2/3			無声音 / h, t /	2/2
		C2	-子音			—	C2
	有声音	—	有声音 / r /		2/2		
	無声音 / s /	3/3	無声音		—		

## 3. 考察

2 の分析結果から導き出されるのは以下の通りである。

## 3.1. 「田」が/da/ (連濁) になる場合

前部要素2モーラ分の母音の並びが [ a + e ] [ i + a ] [ o + o ] で、2モーラ目の子音が鼻子音 /n/, /m/ の条件下では、3モーラ目の子音 (「田」を構成する語音) においても「鼻子音は後続する子音を有声化する」(窪園 2001) 現象に符合する。尚、1モーラ目の子音は無声であることが多い。

中でも、2モーラ目の子音が/n/ (鼻子音・有声) の場合、/N/ (撥音) となり、必ず「田」の読みは濁音となって現れる。1モーラ目の子音に関して9例中2例 /m/, /g/ の例外がある。この場合も/m/と/n/、/g/と/n/の調音点の近似や鼻音に近い音が濁音を呼び起こしたと考えられる。

母音の並びに焦点を当てると、2モーラ目の子音が無い gouda、shouda、souda などの/ou/の部分は長音と捉えることができる。濁音になるのは5例あったが、その内の1件は/da/とも/ta/とも発音される場合である。

## 3.2. 「田」が /ta/ になる場合

2モーラ目の子音が「田」/ta/ の /t/ と同じ無声音子音 /t/ で、/Q/ (促音) の時は「田」の読

みは濁音にはならない。

2モーラ目の子音が、有声音の場合が多く、母音配列が [ i + a ] [ i + o ] [ o + i ] [ a + u ] の時に現れる傾向であるが、この母音配列は濁音化する・しないには影響を与えないと思われる。

## 3.3. 「田」が /da/にも/ta/にもなり得る場合

母音配列が [ a + a ] の場合、1モーラ目の子音は無声音子音が多く、同時に2モーラ目で有声音子音が多いと、ほぼ同じくらいの割合で/da/にも/ta/にもなり得る。

母音配列が [ a + i ] の場合、/ta/になる時は1モーラ目と2モーラ目の子音は有声でも無声でもあり得る。但し、/da/になる時の2モーラ目の子音は無声音子音が多い。

母音配列が [ a + u ] の場合、/ta/と読む時は2モーラ目の子音は有声、無声双方の可能性があるので、対し、/da/になる時の2モーラ目の子音は必ず無声音子音である。

## 3.4. 総括的考察

1) 前部要素2モーラの中に、連濁現象を引き起こすと思われる条件が見いだせる。

例1：鼻子音の場合

例2：撥音の場合

例3：長音の場合

2) 2モーラ目の子音に変化をもたらす要因

を多く含む。

3) /ta/にも/da/にもなりうる名字の場合は、母音配列のあり方が決定要因に関係している可能性が示唆される。また第2子音が濁音(/g/,/b/)の場合、連濁にならない。

4) /ta/にも/da/にもなりうる場合は、単に連濁現象によるとは言えない要因があるかも知れない。例えば、恣意的な要因、名字の成立過程、漢字の読み起源、強調意図、或は、アクセントなどの別の要因を考慮する必要がある。

#### 4. おわりに

今回は、本格的な分析の予備的段階での考察を行うことにより、今後の方向性を発展的に明確にすることを目標とした。

先行研究に比して、多くの要素を持ち込まないで出来るだけ単純化した対象を選択することで、連濁現象の側面を見ることにした。

さらに客観的な考察を可能にするためには、厳密に限定された条件下で、統計的に意味のある規模のサンプルデータを収集し分析する必要があると考える。

#### 注と参考文献（順不同）

1. 森岡浩(2009), 名字のヒミツ, 朝日新聞出版
2. 窪園晴夫(2001), 日本語の音声, 現代言語学入門2, 岩波書店
- [3] 杉藤美代子(1965), 柴田さんと今田さん, 日本語音声の研究6, 和泉書院
- [4] 山中 太(1976), 人名地名の語源, 大修館書店
- [5] 金田一晴彦(1976), 連濁の解, Sophia Linguistica Vol.2
- [6] 松浦陽子(1996), 字音語の連濁における先行音節の影響について, 広島大学日本語教育学科紀要 6
- [7] 田中伸一(2009), 日常言語に潜む音法則の世界, 言語・文化選書 10, 開拓社

